

令和2年度 数学科 2年 年間指導計画・評価計画

< 1 > 教科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

< 2 > 各学年・各分野の目標

- (1) 文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を養うとともに、連立二元一次方程式について理解し用いる能力を培う。
- (2) 基本的な平面図形の性質について、観察、操作や実験などの活動を通して理解を深めるとともに、図形の性質の考察における数学的な推論の必要性和意味及びその方法を理解し、論理的に考察し表現する能力を養う。
- (3) 具体的な事象を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。
- (4) 不確定な事象を調べることを通して、確率について理解し用いる能力を培う。

< 3 > 評価の観点及びその趣旨

数学への関心・意欲・態度	数学的な事象に関心をもつとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学を活用して考えたり判断したりしようとする。
数学的な見方や考え方	事象を数学的にとらえて論理的に考察し表現したり、その過程を振り返って考えを深めたりするなど、数学的な見方や考え方を身に付けている。
数学的な技能	事象を数量や図形などで数学的に表現し処理する技能を身に付けている。
数量や図形などについての知識・理解	数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などについて理解し、知識を身に付けている。

< 4 > 観点別評価の評価基準と評定

観点別 評価基準	A	十分に満足できる状況である。(80%以上)
	B	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	C	努力を要する状況である。(50%未満)

評 定	5	十分に満足できる状況であるもののうちで、特に程度の高いもの。(90%以上)
	4	十分満足できる状況である。(80%以上)
	3	おおむね満足できる状況である。(50%以上)
	2	努力を要する状況である。(50%未満)
	1	一層努力を要する状況である。(20%未満)

< 5 > 指導上の配慮事項

- ① 生徒の言語活動を充実させる指導。
- ② 体験的な学習や問題解決的な学習。
- ③ 学習の見通しを立てたりする学習。学習を振り返ったりする学習。

- ④ 個に応じた指導の充実。→ 習熟の程度に応じた指導
 繰り返し指導 生徒の興味・関心に応じた課題学習
 I C Tを活用した学習 補充的な学習
 発展的な学習

数学科 2 学年 年間指導計画・評価計画

月	単元名 指導時数	ねらい・学習課題 学習活動	評価の観点				評価規準
			関	見	技	知	評価の方法
6 月	1 年 7 章 資料の散らば りと代表値 1 節 資料の散らば りと代表値 4 時間 2 節 資料の活用 4 時間	○何時何分発のバスに乗ればよいかを 判断するために、所要時間を整理する こと ○度数分布表や階級、階級の幅、度数の 意味 ○資料を度数分布表に整理すること ○度数分布表からヒストグラムや度数 折れ線をかくこと ○度数分布表やヒストグラムから、資料 の分布のようすや特徴をよみとること ○相対度数の必要性和その意味 ○度数分布表から相対度数を求めるこ と ○相対度数の表から、資料の分布のよう すや特徴をよみとること ○範囲の意味とその求め方 ○累積度数、累積相対度数の意味 ○累積度数、累積相対度数を求める ○代表値の意味 ○平均値、中央値（メジアン）、最頻値 （モード）の意味とそれらの求め方 ○範囲や平均値、中央値、最頻値を用い て、資料の特徴を調べたり、2つの資 料を比較したりすること ○目的や資料のようすに応じて、用いる 代表値を適切に選ぶ必要があること ○これまでに調べたことをもとに、扉の 課題を自分なりに考え、説明すること ○具体的な記録のヒストグラムについ て、特徴をよみとったり、比較したり すること	●	●			【関心・意欲・態度】 ①様々な事象についての資料 を収集して整理したり、ヒスト グラムや代表値などを用いて その傾向を読み取ったりする など、数学的に考え表現するこ とに関心をもち、意欲的に問題 解決に活用して判断しようと している。 ・教師の観察、提出物の点検 【見方や考え方】 ①ヒストグラムや代表値など についての知識及び技能を活 用し、事象を論理的に表現し、 過程を振り返って考えを深め、 数学的な見方や考え方を身に つけている。 ・小テスト、定期テスト 【技能】 ①資料を表やグラフに整理し たり、代表値を求めたりするな どの技術を身につけている。 ②累積度数、累積相対度数を求 めることができる。 ・小テスト、定期テスト 【知識・理解】 ①ヒストグラムや代表値の必 要性と意味、相対度数、累積度 数、累積相対度数の必要性と意 味などを理解し、知識を身につ けている。

		○具体的なチーム分けについて、自分の考えで2チームに分け、その考えやチームの力について、ヒストグラムや代表値を用いて説明すること ○ことがらの起こりやすさ	●	●		・小テスト、定期テスト
	1章 式の計算 1節 式の計算 (9時間)	○単項式、多項式、項の意味 ○単項式と多項式の次数の意味 ○1次式の意味 ○同類項の意味 ○同類項をまとめる計算をすること ○多項式どうしの加法と減法を計算すること ○多項式と数との乗法と除法を計算すること ○多項式のいろいろな計算をすること ○単項式どうしの乗法を計算すること ○単項式どうしの除法を計算すること ○乗法と除法の混じった式を計算すること ○文字を2つふくむ式の値を求めること ○式を簡単にしてから式の値を求めること	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ○式の値の求め方に関心を持ち、効率的に式の値を求める方法を考えようとしている。 ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○式の値を求めるとき、式の計算を活用して考えることを通して、式の計算のよさを見いだすことができる。 ・小テスト，定期考査 【技能】 ○整式の加減，多項式と数の乗除の計算ができる。 ○単項式の乗除の計算ができる。 ○式の値を求めることができる。 ○式を簡単にしてから，式の値を求めることができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○多項式，単項式の意味を理解している。 ○次数について，単項式と多項式の意味の違いを理解している。 ・小テスト，定期考査
7月	2節 文字式の利用 (5時間) 章の問題 (1時間)	○文字を用いた式を利用して，整数の性質を説明すること ○カレンダーの数の並びについて，いろいろな性質をみつけて説明すること ○等式を変形することの意味 ○等式を変形すること ○等式の変形を利用して，おうぎ形の個の長さや面積について考えること	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ○帰納や推論によってとらえた関係を，文字を用いて説明しようとしている。 ○目的に応じて式を利用することに関心を持ち，数量の間の関係を説明しようとしている。 ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○数量の関係や性質を、文字を用いて，一般的に説明することができる。 ○目的に応じて式を変形し，そ

8月						の結果を利用して、数量の間の関係などを説明することができる。 ・小テスト，定期考査 【技能】 ○事象を文字式に表したり，文字式が表す具体的場面をよみとったりすることができる。 ○具体的場面で，目的に合うように等式を変形することができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○文字を用いると数量やその関係を簡潔かつ一般的に表現できることや，一般的に説明することができることなど，文字式を用いることのよさを理解している。 ○等式を「～について解く」ことの意味や、等式を目的に合うように変形する方法を理解している。 ・小テスト，定期考査
	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方 (8時間)	○2元1次方程式とその解の意味 ○連立方程式の意味 ○連立方程式の解の意味 ○連立方程式を解くことの意味 ○連立方程式の加減法による解き方を考えること ○絶対値の等しい係数がふくまれる連立方程式を解くこと ○消去することの意味 ○係数が異なる場合の連立方程式を解くこと ○加減法の意味 ○連立方程式の代入法による解き方を考えること ○代入法で連立方程式を解くこと ○連立方程式を適当な方法で解くこと ○かっこをふくむ連立方程式を解くこと ○小数係数，分数係数をもつ連立方程式を解くこと ○$A=B=C$の形をした連立方程式を解	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ● ○2つの文字を用いると数量の関係が簡単に表せるものがあることに関心をもち，その関係を2つの文字を用いて式に表し，これを方程式とみて解を求めようとしている。 ● ○連立方程式を1次方程式に帰着させて解くという代数的操作に関心をもち，連立方程式の解き方を考えようとしている。 ● ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○2つの文字を用いて数量の関係を式に表し，それを方程式とみて，解の求め方やその意味を考えたりすることができる。 ○2元1次方程式には解が無数にあることに気づき，方程式を連立することの意味や，連立方程式の解の意味について考えることができる。

		くこと ○連立方程式の解の値から方程式の係数を求めること		●		○連立方程式では、1 次方程式に帰着すれば解けることを、具体例を通して気づき、連立方程式の解き方を考えることができる。 ○かっこをふくむ連立方程式や、係数に分数や小数をふくむ連立方程式の解き方について、1 年の方程式の学習に関連づけて考えることができる。 ○$A = B = C$ の形をした連立方程式について、その解き方を考えることができる。 ・教師の観察、小テスト、定期考査 【技能】 ○連立方程式を加減法や代入法を用いて解くことができる。 ・小テスト、定期考査 【知識・理解】 ○2 元 1 次方程式とその解の意味を理解している。 ○連立方程式の意味とその解の意味を理解している。 ○連立方程式は、1 つの文字を消去して既知の 1 次方程式に帰着すれば解けることを理解している。 ○加減法、代入法の解き方の手順を理解している。 ・小テスト、定期考査	
9 月	2 節 連立方程式の利用 (5 時間)	○具体的な問題を、連立方程式を用いて解くときの考え方の手順 ○速さの問題を、連立方程式を利用して解決すること ○割合の問題を、連立方程式を利用して解決すること	●	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ○具体的な問題の解決に連立方程式を利用しようとしている。 ・教師の観察、提出物点検 【見方・考え方】 ○具体的な問題で、数量の間の関係をとらえて連立方程式をつくることができる。 ・教師の観察、小テスト、定期考査 【技能】 ○連立方程式を解いて具体的な問題の解決ができる。
	章の問題						

1 0 月						○あたえられた条件をみたす1次関数を求めることができる。 ○身のまわりの事象を，1次関数とみなし，表，式，グラフを用いて，表現したり，処理したりすることができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○1次関数の意味を理解している。 ○比例は1次関数の特別な場合であることを理解している。 ○グラフの傾きと切片の意味を理解している。 ○変化の割合の意味を理解している。・小テスト，定期考査
	2節 1次関数と方程式 (4時間)	○2元1次方程式のグラフを，点を多くとってかくこと ○2元1次方程式と1次関数のグラフの関係 ○2元1次方程式のグラフをかくこと ○$y=k$や$x=h$のグラフの意味とそれらのグラフをかくこと ○図形の辺上を点が動いてできる図形の面積の変化のようすを，式やグラフで表すこと	●	●	● ●	【関心・意欲・態度】 ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○2元1次方程式のグラフを，その2元1次方程式の解の集合であるとみることができる。 ○図形の辺上を動く点と図形の頂点がつくる図形の面積の変化について，動く点がどの辺上にあるか，場合を分けて考えることができる。 【技能】 ○2元1次方程式のグラフを，式を変形して切片と傾きを求めてかくことができる。 ○2元1次方程式のグラフを，グラフが通る2点の座標を求めてかくことができる。 ○2元1次方程式$ax+by+c=0$で，aやbが0のときのグラフをかくことができる。 ○2元1次方程式$ax+by+c=0$で，aやbが0のときのグラフをかくことができる。 ・小テスト，定期考査

	3 節 1 次関数の利用（5 時間） 章の問題（1 時間）	○乗り物の動きをグラフに表し，グラフを利用して問題を考えること ○グラフから速さなどをよみとること ○連立方程式の解をグラフから求めること ○グラフの交点の座標を，連立方程式を解いて求めること	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○グラフを利用して，グラフから具体的な量をよみとり，具体的な問題を解くことができる。 ○連立方程式の解の意味を，2 元 1 次方程式のグラフと関連づけて，考えることができる ・教師の観察、小テスト，定期考査 【技能】 ○連立方程式の解を，2 元 1 次方程式のグラフの交点の座標を利用して求めることができる。 ○2 つの 2 元 1 次方程式のグラフの交点の座標を，連立方程式を解いて求めることができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○1 次関数と 2 元 1 次方程式の関係を理解している。 ・小テスト，定期考査
1 1 月	4 章 平行と合同 1 節 説明のしくみ（3 時間）	○多角形の内角の和をいろいろな方法で求めること ○多角形の内角の和の求め方を，多角形をいろいろな方法で三角形に分けて考えること ○多角形の表し方 ○多角形の外角と内角の意味 ○多角形の内角の和の性質 ○多角形の外角の和の性質 ○多角形の内角や外角の大きさを求めること	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ○多角形の内角の和に関心をもち，三角形の内角の和が 180° であることをもとに多角形の内角の和をいろいろな方法で求めようとしている。 ・教師の観察，提出物点検 【技能】 ○多角形を頂点の記号を用いて表すことができる。 ○多角形の内角の和や外角の和を求めることができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○多角形の内角，外角の意味や，内角の和，外角の和の求め方を理解している。 ○三角形の内角，外角の性質を理解している。 ・小テスト，定期考査

1 2 月	2 節 平行線と角 (6 時間)	○対頂角の意味とその性質 ○対頂角の性質を用いて角の大きさを求めること ○同位角と錯角の意味 ○平行線の性質と平行線になるための条件 ○平行線の性質を利用して、角の大きさを求めること ○平行線になるための条件を利用して、2 直線の平行を判断すること ○三角形の内角の和が 180° であることを証明すること ○証明の意味 ○三角形の内角と外角の性質 ○三角形の内角と外角の性質を用いて三角形の内角や外角の大きさを求めること				●	【見方・考え方】 ○三角形の内角の和が 180° であることを、平行線の性質などを使って、演繹的に説明することができる。 ・教師の観察、小テスト、定期考査 【技能】 ○対頂角や平行線と角の性質を利用して、角の大きさを求めることができる。 ○2 直線の位置関係を、平行線になるための条件を用いて説明することができる。 ○三角形の内角、外角の性質を利用して、角の大きさを求めることができる。 ・小テスト、定期考査 【知識・理解】 ○対頂角、同位角、錯角の意味を理解している。 ○対頂角の性質や平行線の性質、平行線になるための条件を理解している。 ○証明の必要性や意味を理解している。 ・小テスト、定期考査
	3 節 合同な図形 (6 時間)	○図形の合同の意味 ○合同な図形の対応する線分や対応する角の関係 ○合同な図形の性質 ○合同な図形を記号を使って表すこと ○合同な三角形をかく方法を考えること ○三角形の合同条件 ○三角形の合同を、合同条件から判断すること ○三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明すること ○仮定と結論の意味 ○あることがらの仮定と結論を指摘すること	●			●	【関心・意欲・態度】 ○ある三角形と合同な三角形をかくことに関心をもち、三角形のどの辺や角に着目すると2つの三角形が合同になるのかを調べ、三角形の合同条件を見いだそうとしている。 ○合同条件を利用することに関心をもち、作図の方法が正しいわけを、三角形の合同条件を用いて考えようとしている。 ○図形の性質を証明することに関心をもち、根拠を明らかにして、証明を筋道立てて考えようとしている。

	章の問題 (1 時間)	○根拠となることがらを明らかにして 図形の性質を証明すること ○証明のすじ道を考え、根拠となることがらをいうこと ○根拠となることがらのまとめ	●	●	●	・教師の観察、提出物点検 【見方・考え方】 ○三角形の合同条件を用いて、 作図の方法が正しいわけを証明することができる ○簡単な図形の性質が成り立つわけを、三角形の合同条件を用いて証明することができる。 ○証明の根拠となることがらを明確にし、証明の筋道を考え、説明することができる。 ・教師の観察、小テスト、定期 考査 【技能】 ○2つの合同な図形において、 対応する頂点や辺、角をいうことができる。 ○2つの図形の合同や辺や角の 関係を式で表したり、その意味をよみとったりすることができる。 ○合同な2つの図形を、記号を用いて式に表したり、式から、 対応する辺や角をよみとったりすることができる。 ○2つの三角形の合同を、三角形の合同条件を用いて判断することができる。 ○三角形の合同条件を用いる 簡単な証明において、辺や角の関係をよみとることができる。 ○仮定、結論を区別し、記号を用いて表すことができる。 ○図形の証明において、根拠となることがらをいうことができる。 ・小テスト、定期考査 【知識・理解】 ○図形の合同の意味を理解している。 ○合同な図形の性質を理解している。 ○三角形の合同条件を理解し
--	------------------------	--	---	---	---	--

						ている。 ○仮定，結論の意味を理解している。 ○証明をするときには，これまでに正しいと認められたことがらを根拠とすればよいことを理解している。 ・小テスト，定期考査
1月	5章 三角形と四角形 1節 三角形 (8時間)	○定義の意味 ○二等辺三角形の定義 ○二等辺三角形の底角の性質 ○二等辺三角形の頂角，底辺，底角の意味 ○定理の意味 ○二等辺三角形の底角の性質を用いて二等辺三角形の角の大きさを求めること ○鋭角，鈍角の意味 ○二等辺三角形の頂角の二等分線の性質 ○正三角形の定義と正三角形の内角の性質 ○二等辺三角形になるための条件 ○二等辺三角形になるための条件を利用して，図形の性質を証明すること ○定理の逆の意味 ○あることがらの逆をいうこと ○斜辺の意味 ○直角三角形の合同条件 ○直角三角形の合同を，合同条件から判断すること ○直角三角形の合同条件を利用して，図形の性質を証明すること ○三角形の内角の二等分線の性質				● 【関心・意欲・態度】 ● ○二等辺三角形になるための条件を利用することに関心を持ち，それを利用して図形の性質を考察しようとしている。 ● ○直角三角形の合同条件に関心を持ち，それを三角形の合同条件を用いて調べようとしている。 ● ○図形の証明をよむことに関心を持ち，そこから新たな性質を見いだそうとしている。 ● ・教師の観察，提出物点検 ● 【見方・考え方】 ● ○二等辺三角形の性質を見だし，証明することができる。 ● ○二等辺三角形の性質を用いて図形の性質を考察し，証明することができる。 ● ○二等辺三角形になるための条件について考察し，証明することができる。 ● ○二等辺三角形になるための条件を用いて図形の性質を考察し，証明することができる。 ● ○定理の逆が成り立つかどうかを考え，説明することができる。 ● ○図形の証明をよみ，そこから新たな性質を見いだすことができる。 ● ・教師の観察、小テスト，定期考査 ● 【技能】 ● ○二等辺三角形の底角の性質

						を用いて、角の大きさを求めることができる。 ○定理の逆をいうことができる。 ○2つの直角三角形の合同を、直角三角形の合同条件を用いて判断することができる。 ・小テスト，定期考査 【知識・理解】 ○定義と定理の意味を理解している ○二等辺三角形に関するいろいろな用語の意味を理解している。 ○二等辺三角形の定義や性質を理解している。 ○正三角形の定義と性質を理解している。 ○二等辺三角形になるための条件を理解している。 ○定理の逆の意味を理解している。 ○定理の逆はいつでも正しいとはかぎらないことや，正しいことを示すにはそのことを証明する必要があることを理解している。 ○直角三角形の合同条件を理解している。 ・小テスト，定期考査
2 節 平行四辺形 (1 1 時間)	○四角形の対辺，対角の意味 ○平行四辺形の定義と平行四辺形の表し方 ○平行四辺形の性質 ○平行四辺形の性質を利用して，平行四辺形の角の大きさや辺の長さを求めること ○平行四辺形の性質を利用して，図形の性質を証明すること ○乗り物で，人の乗る面がいつも水平になるわけを考えること ○平行四辺形になるための条件	●	●	●	●	【関心・意欲・態度】 ● ○平行四辺形になるための条件に関心をもち，それを考えようとしている。 ● ○面積の等しい三角形に関心をもち，具体的な図形について面積の関係を調べたり，面積の等しい図形をいかたりしようとしている。 ・教師の観察，提出物点検 【見方・考え方】 ○平行四辺形の性質を見いだ

2 月		○平行四辺形になるための条件を利用して、平行四辺形であるかどうかを判断すること ○平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明すること ○長方形、ひし形の定義と性質 ○直角三角形の斜辺の中点の性質 ○正方形の定義と性質 ○長方形、ひし形、正方形になるための条件 ○反例の意味と、ことがらの反例をあげる ○平行線間の距離 ○底辺を共有し、底辺に平行な直線上に頂点をもつ三角形の面積は等しいこと ○高さの等しい三角形の面積の比は底辺の比に等しいこと ○面積を変えないで多角形を変形すること	●	●	●	し、証明することができる。 ○平行四辺形の性質を用いて図形の性質を考察し、証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を見だし、証明することができる。 ○平行四辺形になるための条件を用いて図形の性質を考察し、証明することができる。 ○ひし形や長方形の対角線の性質を証明することができる。 ○長方形やひし形、正方形になるための条件を考えることができる。 ○正しくないことがらについて反例をあげることができる。 ○面積が等しいことを根拠にして、図形の性質を証明することができる。 ○平行線の性質を利用して、等積変形する方法を考え、その方法を説明することができる。 ・教師の観察、小テスト、定期考査 【技能】 ○平行四辺形の性質を、記号を用いて表したり、その意味をよみとったりすることができる。 ○平行四辺形になるための条件を、記号を用いて表したり、その意味をよみとったりすることができる。 ○平行線の性質を利用して、面積の等しい図形を見だし、式で表すことができる。 ・小テスト、定期考査 【知識・理解】 ○平行四辺形の記号や、平行四辺形に関するいろいろな用語の意味を理解している。 ○平行四辺形の定義や性質を理解している。
	章の問題 (1時間)		●	●		

						○平行四辺形になるための条件を理解している。 ○長方形やひし形，正方形の性質を理解している。 ○特別な平行四辺形の相互の関係を理解している。 ○反例の必要性和意味を理解している。 ○底辺を共有し高さが等しい三角形の面積は等しいことを理解している。 ・小テスト，定期考査
3月	6章 確率 1節 確率 (5時間) 章の問題 (1時間)	○確率の意味 ○多数回の実験や観察の結果から確率を考えること ○同様に確からしいことの意味 ○場合の数から，計算によって確率を求めること ○あることがらの確率を求める手順 ○確率 p の範囲が $0 \leq p \leq 1$ であること ○起こりうる場合を，表や樹形図を利用して全部あげ，確率を求めること ○くじびきの順番と当たりやすさの関係について調べること ○あることがらの起こらない確率 ○いろいろな確率の求め方	●			● 【関心・意欲・態度】 ○事象の起こる割合に関心をもち，観察，操作や実験を通して，その割合を数で表そうとしたり，その結果を用いて事象について振り返って調べようとしたりしている。 ● ○くじのあたりやすさとかくじをひく順番との関係に関心をもち，予想したり，確率を求めて確かめようとしたりしている。 ● ・教師の観察，提出物点検 ● 【見方・考え方】 ● ○くじのあたりやすさとかくじをひく順番との関係について，自分の予想や，確率を求めて確かめた結果について説明することができる。 ● ・教師の観察、小テスト，定期考査 ● 【技能】 ○多数回の試行の結果から相対度数を計算し，確率を求めることができる。 ○樹形図や表をかくことによって，起こりうるすべての場合を求め，同様に確からしいことをもとにして確率を求めることができる。 ○あることがらの起こらない

	7 章 データの比較 (3 時間) 章の問題 (1 時間)	○四分位範囲と箱ひげ図 ○四分位範囲と箱ひげ図の意味 ○四分位範囲と箱ひげ図を求める ○四分位範囲と箱ひげ図からデータを 読む	●	●	●	確率を求めることができる。 ○やや複雑な確率を、表などを利用して求めることができる。 ・小テスト、定期考査 【知識・理解】 ○確率の意味を理解している。 ○同様に確からしいことの意味を理解している。 ○確率の値が 1 や 0 であることの意味や、確率の値の範囲について理解している。 ・小テスト、定期考査 【関心・意欲・態度】 ○四分位範囲と箱ひげ図に関心をもち、効率的に四分位範囲と箱ひげ図ようとしている。 ・教師の観察、提出物点検 【見方・考え方】 ○四分位範囲と箱ひげ図からそのデータの特徴を理解することができる。 ・小テスト、定期考査等 【技能】 ○データを処理して四分位範囲と箱ひげ図を求めることができる。 ・小テスト、定期考査等
	1, 2 年生の 復習 (2 時間)					